

かいぎろく  
会議録

かいぎめいしやう 会議名称	だい きさいわいくくみんかいぎ だい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい 第5期幸区区民会議 第6回専門部会「地域力で暮らしやすいまち部会」
にちじ 日時	へいせい ねん がつ にち げつ ごご じ ふん ごご じ ふん 平成27年4月20日(月) 午後6時30分～午後8時00分
かいじやう 会場	さいわいくやくしよ かい こうどう 幸区役所4階 講堂
しゅつせきしや 出席者	くみんかいぎいん (ごじゅうおんじゆん) ●区民会議委員(五十音順) いとうよしみちいん おのすぐるいん さとうれいぞういん たかはしのぞみいん なりかわしんいちいん ぶかいちやう 伊藤善通委員、小野偉委員、佐藤例蔵委員、高橋希委員、成川慎一委員(部会長)、 ならばやしてゐるいん にしもとまるどにあいん ふじてるみいん まついでつこいん ふくぶかいちやう 檜林照江委員、西本マルドニア委員、藤井照美委員、松井節子委員(副部会長)、 むらたせいこいん 村田清子委員 ●事務局 さいわいくやくしよ すいしんぶきかくか よしおかだいすけかりちやう すずきさとししよくいん やまだゆりな 幸区役所まちづくり推進部企画課 吉岡大輔係長、鈴木智 職員、山田侑里奈 しよくいん 職員 こうれい しょうがいここうれいしやしえんがかり おおしるけいこちやうほさ 高齢・障害課高齢者支援係 大城敬子課長補佐 かぶ けいかくぎじゆつけんきゆうしよ あべ あきら (株) 計画技術研究所 阿部 正
けつせきしや 欠席者	あおきはるひこいん かみやおさむいん 青木晴彦委員、神谷修委員
ほうちやうしや 傍聴者	にん 0人
はいふしりやう 配布資料	ぎ じ し だい ●議事次第 ●資料1 ひありんぐちやうさほうこく くない しょうがいしやそうだんしえんせんたー ヒアリング調査報告「区内4つの障害者相談支援センター」 ●資料2 ひありんぐちやうさほうこく こうかんどおり ちやうめちやうないかい ヒアリング調査報告「鋼管通2丁目町内会」 ●資料3 ひありんぐちやうさほうこく ちいきこそだ しえんせんたー ヒアリング調査報告「地域子育て支援センターふるいちば」 ●資料4 ちやうないかい じちかい かつせいかこうざ だい かい 町内会・自治会活性化講座(第4回) ●資料5 ちやうないかい じちかい じっし とりくみ ほうこうせい かくにん 町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認について ●資料6 ちいきりよく く ぶかい ちやうさしんぎすけじゆーる あん 「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール(案) ●資料7 だい きさいわいくくみんかいぎ すけじゆーる あん 「第5期幸区区民会議」スケジュール(案) ●その他1 ほか だい きさいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい ちいきりよく く 第5期幸区区民会議第5回専門部会(地域力で暮らしやすいまち ぶかい てきろく 部会)摘録 ●その他2 ほか だい きさいわいくくみんかいぎいん さんよめいぼ 第5期幸区区民会議委員・参与名簿
ぎ だい 議題	1 ひありんぐちやうさなど ほうこく ヒアリング調査等の報告について 2 ちやうないかい じちかい じっし とりくみ ほうこうせい かくにん 町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認について 3 こんご すけじゆーる 今後のスケジュールについて
けつていじこう 決定事項	1 ちやうないかい じちかい じっし とりくみ ほうこうせい かくにん 町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認について ・今後、町内会・自治会を中心に実施していく際には、『負担にならない取組を けいぞく しよく い たい 継続していくこと』『いまある仕組みなどを活かした取組であること』に視点を お 置く。

・誰もが暮らしやすい街の実現及び地域コミュニティの活性化に向けて、町内会・自治会で実施する取組の可能性やポイント等については、次回部会でも意見交換を行い、引き続き検討していく。

・対象を障害者とする場合、個人情報の取扱、障害者自身や介助者が支援を望まないなど、手を差し伸べることが難しいことも想定される。対象については、『本人が支援を望む場合』など、ある程度の基準を設けることも検討する。

かいぎ ないよう  
**会議の内容**  
 およ  
**及び**  
 おも はつげん  
**主な発言**

**1 ヒアリング調査などの報告について**

- 資料1について松井副部長（ヒアリングリーダー）が概要を説明した。
- 資料2について成川部長（ヒアリングリーダー）が概要を説明した。
- 資料3について村田委員（ヒアリングリーダー）が概要を説明した。
- 資料4について事務局が概要を説明した。

●区内4つの障害者相談支援センター、鋼管通2丁目町内会、地域子育て支援センターふるいちばのヒアリング結果及び町内会・自治会活性化講座（第4回）の情報を共有するとともに、意見交換を行った。

**【地域子育て支援センターふるいちばへのヒアリング調査における感想等について】**

- 地域子育て支援センターのボランティアをはじめ、就学前の子どもを地域で支える体制は充実しているように感じた。
- 義務教育になると、学校に任せきりになってしまう傾向があるのではないか。
- 小学生の子どもを放課後や休日に見守る体制として、学校内に「わくわくプラザ」があるが、近年、大規模マンションの建設等により、一部の地域では利用者が大幅に増加し、利用スペースの狭隘化など、受入れる環境に弊害が生じている。
  - 「わくわくプラザ」は、小学生であれば誰でも利用できる。
  - 公園で遊ぶ子どもを見かけなくなった。「わくわくプラザ」のように室内で遊ばせた方が親にとっても安心とすることか。
  - 「わくわくプラザ」の充実が求められるのではないか。

**2 町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認について**

- 資料5-1及び2について事務局が説明した。
- 町内会・自治会で実施する取組の可能性やポイント等について意見交換を行った。
  - 【地域コミュニティの活性化に向けた、町内会・自治会の取組事例やポイント等についての意見交換等】
    - 鋼管通2丁目町内会（川崎区）のように自らの意思で取り組むことが重要。

また、日常見守り、定期見守り、災害時救護に分けて見守りを行うのは良いと思  
った。

- ・防災をテーマにすることで、取り組みやすくなるのではないかと。防災訓練の一環と  
して、隣同士の声かけをやるような取り組みが月1回でもできれば良いと思  
った。
- ・災害時に、独居高齢者や高齢者のみ世帯、障害者がいる世帯など、助けなければ  
いけない人がどこにいるのかわかるように、防災マップ等を作るのも良いのでは  
ないか。把握した情報を活用し、ブロックごとに点検できるような仕組みが作れ  
ると良い。
- ・地域包括支援センターなどの関係機関とは、大山自治会（東京都立川市）の取組の  
ように連携を密にしておくために、定期的に情報交換ができると良い。
- ・鋼管通2丁目町内会（川崎区）には、全世帯を対象とした防災マップがある  
が、作成に当たり、全世帯から名簿の提出を受けている。そういった協力が得ら  
れない地域もあるので、できることから取り組むということによいと思う。
- ・ワンルームやセキュリティ機能の高いマンションでは、協力を得るのは難  
かしいかもしれない。
- ・地域に協力を依頼する際、全戸周知はするが、断る人にまで無理に協力を求め  
る必要はない。

- ・第4期「みんなで見守りたい」で作成したリーフレットは見守り活動を分かりや  
すくまとめており、地域の方にも説明しやすくなっている。
- ・河原町団地では、鋼管通2丁目町内会（川崎区）と同じような取組を行って  
いる。月初めと中旬に、民生委員、老人会、自治会、管理組合が協力し、  
パトロールを行っている。団地の階ごとのグループをつくり、居住者の状況を  
把握している。さらに、パトロールしただけではいけないので、必ず会議を月1回  
開催し、地域の情報を共有している。

**【誰もが暮らしやすい街の実現に向けた、町内会・自治会で実施する取組の可能性  
についての意見交換等】**

**<子どもを対象とした取組>**

- ・親が入居するなどして、家に子どもが一人になってしまったときに、地域で支援  
できる体制があると良い。支援を望まない場合もあると思うので、その場合が難  
しい。
- 日頃から、民生委員の存在を知ってもらうことや、町内会・自治会とのつなが  
りを持つことも大切である。
- ・子ども会があれば充分ではないか。
- 子ども会は親睦を図ることを目的とした有志の団体で、必ずしも見守りを行  
っているわけではない。また、地域の子どもの全員が子ども会に加入しているわけ  
でもない。

### ＜障害者を対象とした取組＞

- ・障害は、身体・知的・精神など幅広く、障害特性に合った支援が求められる。
- ・個人情報の取扱いや障害者自身や介助者が支援を望まないなど、手を差し伸べることが難しいことも想定される。
- ・対象については、『災害時』や『本人が支援を望む場合』など、ある程度の基準を設けることも必要ではないか。  
→災害時は、自分の身を守るのが1番だと思ふ。必ず助けるといふものではなく、助けられたら助けるといふ考えでいいと思ふ。

### ＜その他＞

- ・今後、町内会・自治会を中心とした見守り活動を行うに当たり、『負担にならない取組を継続していくこと』『いまある仕組みなどを活かした取組であること』といった視点は重要である。
- ・地域に対し、民生委員や地域包括支援センター、障害者相談支援センター等の役割をもっと周知する必要がある。
- ・先日、宮前区区民会議フォーラムに出席し、認知症カフェについて知った。傾聴ボランティアの取組も面白いと思つた。
- ・大山自治会（東京都立川市）で取り組んでいる24時間対応の相談窓口は魅力的な取組だと思ふ。また、地域住民のニーズ把握が十分にできていないと思ふので、是非やりたい。

### 3 今後のスケジュールについて

- 資料6及び7について事務局が説明した。
- 老人クラブ（戸手中部町内会「九十九会」）のヒアリング調査は平成27年4月28日（火）10：00からとする。（場所：幸区役所プレハブ会議室）
- くぬぎ台団地のヒアリング調査は平成27年5月の実施で調整している。決まり次第、各委員に連絡する。
- 第7回専門部会は平成27年5月26日（火）18：30からとする。（場所：幸区役所4階第5会議室）
- 第8回専門部会は平成27年6月22日（月）18：30からとする。（場所：幸区役所3階ホール）

※第7回専門部会は、平成27年6月9日（火）18：30からに変更となった。（場所：幸区役所4階第4会議室）